

NIE 教育

思考力，判断力，表現力の育成に向けて

呉市立両城中学校 森田 智美

1 はじめに

本校は，呉市街西部の高台に位置し，呉湾，江田島，倉橋島，灰ヶ峰，休山連山を望む風光明媚な地にある。今年度は，全校生徒142名（1年生44名，2年生48名，3年生50名）が教職員とともに，充実した学校生活を送っている。

2 ねらい

本校は，「心豊かに 自立する」という学校教育目標のもと，目指す生徒像である「自己を認識し，自分の人生を選択し，表現することができる生徒」「お互いを認め合いながら主体的に学ぶ生徒」を達成するために，育成すべき資質・能力として「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」をもとに教育活動を進めている。その力を育成するために，新聞を活用したNIE教育の取組を進めている。

3 実践内容

(1)新聞を身近に感じる環境づくり

教室に新聞を置き，生徒がいつでも手に取って新聞に触れ，読むことができるようにしている。新聞が身近にあることで，休憩時間や放課後等の時間に新聞を読み，記事を共有する姿も見られた。また，生徒が興味を持つような新聞記事や，生徒に読んでほしい記事を切り抜いて掲示し，新聞に親しむ機会を増やすよう，環境を整えている。



- ☆切り抜きには，テーマごとに見出しを付けて，分かりやすく！
- ☆入試前には小論文の記事などタイムリーなものを！

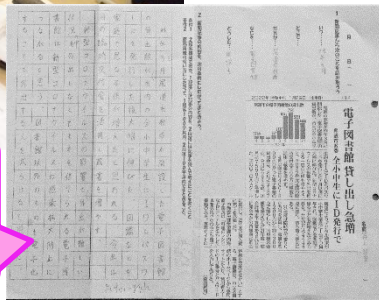
(2)新聞スピーチ

国語科の授業で新聞スピーチに取り組んでいる。毎時間の授業の初めにグループに分かれ、自分の選んだ記事の要約とそれについての意見文を発表し、グループで交流する学習に継続して取り組んでいる。記事を読み取りまとめる力や、社会の出来事に目を向け、自分の意見を持ち表現する力が付いてきている。

記事をまとめる



添削してコメントを入れることで表現力アップ



～新聞スピーチをするために～

- 1 新聞を読み、記事を選ぶ。
- 2 読み取りに必要な5W1Hを書き取り、見出しを参考に記事を100字で要約する。
- 3 記事について考えたことを100字でまとめる。
- 4 グループごとに1人スピーチをする。
- 5 スピーチを聞いて、記事についての意見を書く。

グループごとにスピーチ



意見を書く



～こんなことができるようになったよ～

以前は新聞を読んでいなかったが、新聞に興味を持って読むようになった。

テレビのニュースも見られるようになり、以前は聞き流していたが、自分の意見を持つようになった。

新聞など長い文章を読むときに、どこが大切なのか分かるようになった。

記事の内容を読んで、自分でまとめる力が付いた。

ただ読むだけでなく、記事に対する自分の考えを、普段ニュースを見たときにも自分だったらどう思うかと考えるようになった。

文章の内容を理解するのが速くなった。

(3) 投稿にチャレンジ

中国新聞のヤングスポットへ、行事等特別な機会ごとや、教科で学習したことをもとにして、考えたことを応募した。年間を通して継続して取り組んだことで、昨年度掲載された生徒は4名だったが、今年度は現時点で13名の生徒の投稿文が掲載された。掲載されたことが自信になり、また、友達の投稿文が掲載されたことが刺激になり、書く意欲や表現力の向上につながっている。



だんだん文章を書く力が身に付いたことを実感した。

身近なことに疑問を持ちたい、自分の考えをしっかりと持ち出すことができるようになった。

長い文章を書くことができるようになった。

～こんな力が付いたよ～

自分の思ったことを伝える表現力が付いた。

身近なことでも疑問を持ってみるようになった。

自分の思いを書いた文章が新聞に載ったときはうれしかった。

(4) 新聞づくりにチャレンジ

教科や総合的な学習の時間に、テーマを設定して必要な情報を収集し、考えたことを新聞にまとめ掲示した。読み手に分かりやすいように記事としてまとめて見出しをつけ、読みやすいように記事の順番や色合い、文字の大きさなど、全体の構成を考えながら作っていく。一枚の新聞にまとめていく過程で学ぶことも多い。



4 おわりに

実践指定校として1年目の今年度は、新聞に親しむことからスタートした。家庭で新聞を購読していない生徒が多く、新聞を読む習慣が付いていない中での実践だったが、新聞を活用した学習に取り組むことによって、文章を読み取り、考えを自分の言葉で表現する力が伸び、思考力、判断力、表現力の向上につながっている。

これからもNIEの活動を推進し、新聞を身近なものとして継続して読む習慣を身に付ける取組を実践し、思考力、判断力、表現力の育成に向けて取り組んでいきたい。